

2017年度日本計量生物学会年会・チュートリアルのご案内

大森崇, 岸本淳司, 菅波秀規, 手良向聡, 服部聡 (企画担当理事)

2017年度日本計量生物学会年会を2017年3月16日(木)および3月17日(金)午前に中央大学後楽園キャンパスにて開催します。また、3月17日(金)午後同一会場にてチュートリアルを実施します(応用統計学会と共催)。年会の一般講演を募集しますので奮ってご参加下さい。本年度も、一般講演として口頭発表とポスター発表を募集いたします。一般講演申込の詳細は下記の年会案内をご参照下さい。

本年会は応用統計学会の後援で実施され、両学会員は本年会、3月17日(金)のチュートリアル、および3月18日(土)開催の応用統計学会年会に、会員価格で参加できます。また、一般講演セッションで発表される学生会員の方には、旅費の補助をいたします。学生会員の方の積極的な発表をお待ちいたします。参加費の詳細は以下をご参照ください。本年会およびチュートリアルの参加につきましては、原則として事前に参加申し込みをしていただきますよう、ご協力のほどお願いいたします。参加および講演申し込みの詳細はHP <http://www.biometrics.gr.jp/> を参照ください。

年会・チュートリアルの会場および参加要領

会場

中央大学後楽園キャンパス 5号館5階 5533教室 <http://www.chuo-u.ac.jp/access/kourakuen/>
〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27 TEL 03-3817-1711

参加費

事前申込:[申し込み期間] 2017年1月23日(月)~2月28日(火)

本学会員 年会2,500円, チュートリアル2,500円

応用統計学会員 年会2,500円, チュートリアル2,500円

非会員 年会4,500円, チュートリアル4,500円

学生(会員, 非会員とも) 年会1,000円, チュートリアル1,000円

年会・チュートリアルは一括申込をお願いします

当日申込:

本学会員 年会3,000円, チュートリアル3,000円

応用統計学会員 年会3,000円, チュートリアル3,000円

非会員 年会5,000円, チュートリアル5,000円

学生(会員, 非会員とも) 年会1,000円, チュートリアル1,000円

申し込み方法

2017年度日本計量生物学会年会 HP よりお申込みください。HP は開設次第、学会 HP <http://www.biometrics.gr.jp/> およびメーリングリストにてご案内申し上げます。

チュートリアル

日時: 2017年3月17日(金) 13:30 ~ 16:30 (予定)

テーマ: 「観察研究における因果推論」

オーガナイザー: 田栗正隆 (横浜市立大学)

内容: 近年、傾向スコアに基づく方法を含め、潜在反応モデルを用いた統計的因果推論の方法が医学研

究における観察研究データの解析に頻用されるようになってきた。また、電子カルテやレセプト等の情報が蓄積された医療情報データベースを活用して、日常診療における薬効評価を行うという試みも行われ始めている。観察研究において因果推論を行う際には、興味のある治療（曝露）とアウトカムの両者に関連する第3の要因による交絡が、因果効果を推定する際の大きな問題となる。本チュートリアルでは、交絡の概念とその調整方法を含め、観察研究から因果推論を行うための統計的な考え方について、初歩的などころから解説を行う。複雑な問題においては、因果ダイアグラムと変数間の関係に対する背景知識の活用が重要であることを強調する。

講師・内容（予定）

1. 田栗正隆：潜在反応モデルに基づく交絡調整
2. 黒木学（統計数理研究所）：因果ダイアグラムと構造的因果モデル
3. 篠崎智大（東京大学）：時間依存性交絡の調整 or 直接・間接効果の検討

2017年度日本計量生物学会年会

日時：2017年3月16日（木）～17日（金）午前

特別セッション：3月16日（木）午後（予定）

セッション名：「疫学と生物統計学との協働」

オーガナイザー：村上義孝（東邦大学）、竹内文乃（慶応義塾大学）

趣旨：疫学とは人間集団を対象として、疾患や健康事象の分布を記述し、それらを引き起こす要因の解明と対策を目的とした学問である。疫学においては、いまだに生物統計学的課題が山積しており、理論・実践の両面からの解決が求められている。今回の特別セッションでは、疫学の各分野で活躍する方々を招き、疫学研究の実施時に直面している課題とその背景について説明していただく。また、疫学研究に参画している生物統計家の方々から、その課題克服へ向けた取り組みを発表していただき、疫学・生物統計学の相互理解と協働の可能性について議論する。

演者・演題（予定）

1. ライフコース疫学（小児、産婦人科分野）：目時弘仁（東北医科薬科大学）、大庭真梨（東邦大学）
2. 環境疫学：橋爪真弘（長崎大学）、Chris Fook Sheng Ng（長崎大学）
3. 疫学（精神科分野）：西山毅（愛知医科大学）、鈴木貞夫（名古屋市立大学）

一般講演の申し込み

一般講演の申し込み

以下の分野毎に演題を募集します。

- A. 臨床試験・臨床研究, B. 臨床診断学, C. 疫学, D. ゲノム・バイオインフォマティクス,
E. 資源・環境・農業, F. 事例研究, G. その他

応募の際には、ご希望される分野名を必ずご指定下さい。分野毎の演題募集には、学会の独自性・特色をより打ち出し、専門性を深めるというねらいがあります。分野毎に、より踏み込んだ活発な議論を期待しております。会員の皆様の積極的なご発表をお願いいたします。

口頭での発表を希望するかポスターでの発表を希望するかを、申し込み時にお申し出ください。希望を最大限尊重いたしますが、プログラム編成の都合上、発表形式の変更をお願いする場合がございますことをご了承ください。

一般講演をされる学生会員の方に、50,000円を上限として旅費の援助をいたします。以下の（5）をご参照ください。

（1）申し込み方法

2017年度日本計量生物学会年会 HP よりお申込みください。HP は開設次第、学会 HP <http://www.biometrics.gr.jp/> およびメーリングリストにてご案内申し上げます。

（2）発表申し込み受付開始 2016年12月26日（月）

(3) 発表申し込み締め切り 2017年1月27日(金)

(4) 予稿原稿締切(必着) 2017年2月10日(金)

ご講演を申し込まれた方には予稿原稿執筆要領をお送りします。

(5) 学生会員に対する旅費の補助について

若い皆さんに積極的に研究発表の機会をもつていただくべく、本年会において演題発表を行う「学生会員」のみなさんに旅費の補助を行うことにしました。たくさんの学生会員のみなさんの発表をお待ちしています。

○対象者：本人が講演者となって一般講演セッションで演題発表を行う学生会員（口演，ポスターを問いません）

○補助額：一人あたり 50,000 円を上限として旅費を補助

○申込方法：補助を希望する対象者は年会の講演申込の際にあわせて「旅費等補助希望」と連絡してください。参加申込み・参加費支払いを各自で行っていただき、学会終了後、補助金額を本人に学会からお支払します。ただし、申込多数の場合にはご希望にそえない場合があります。補助が決定した方には別途事務局より手続き方法について連絡します。

なお、今回の補助は講演申込にあわせて日本計量生物学会に入会申込した学生さんにも適用されます。学生会員の年会費は無料となりますので、周囲で日本計量生物学会に入会していない学生の方にもこの機会に是非入会と発表を勧めてください。

その他

- ・年会期間中に日本計量生物学会総会および学会賞授与式、ならびに評議員会を開催します。
- ・3月18日(土)には応用統計学会年会が本年会と同会場にて開催されます。参加費は正会員，後援学会員 3,000 円，非会員 5,000 円，学生（会員，非会員とも）1,000 円です。

会場周辺案内図

中央大学後楽園キャンパス <http://www.chuo-u.ac.jp/access/kourakuen/>
〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27

- 東京メトロ丸ノ内線・南北線『後楽園駅』から徒歩約5分
- 都営三田線・大江戸線『春日駅』から徒歩約6分
- JR中央・総武線『水道橋駅』から徒歩約12分
- JR中央・総武線『飯田橋駅』から徒歩約17分



お問合せ

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 3-6 能楽書林ビル 5階 (公財) 統計情報研究開発センター内
日本計量生物学会事務局

E-mail: biometrics@sinfonica.or.jp

Fax: 03-3234-7472